

徳島県介護支援専門員協会 令和2年度 主任介護支援専門員フォローアップ研修
「スーパービジョンと事例検討会」(気づきの事例検討会について)

実施日：令和3年1月30日（土）10：00～16：00

場所：（新型コロナ感染予防対策実施のうえ実施）

東部会場： あわぎんホール 4階 大会議室

西部会場： 穴吹農村環境改善センター 1階 多目的ホール

南部会場： 阿南市商工業振興センター 2階 展示ホール

参加者：東部（30名）

西部（29名）

南部（24名）

研修内容：

9：55 開会 山口理事長挨拶

10：00 午前研修開始 稲松先生講義

11：15 10分休憩

12：30～昼食 休憩

13：15 午後研修開始（ナビゲーション講義 気づきの事例検討会を視覚的に学ぶ）

16：00 終了

《研修目的》

主任介護支援専門員は、地域ケア会議等における支援困難事例への対応、介護支援専門員への指導支援、事例を通した地域作りへの参画等、業務は多岐にわたりその質が問われている状況である。今回、兵庫県対人援助研究所 稲松真人先生をお招きし、主任フォローアップ研修を開催した。稲松先生は東部研修会場であるあわぎんホールにお越しいただき、webで西部及び南部会場にその内容を配信した。

《講義内容》主任介護支援専門員として最低限必要なスーパービジョンの知識に加え、気づきの事例会について「考える」ことを意識しながら進められた。

午後はDVDを活用し、気づきの事例検討会を実際に実行している内容に基づき、DVDを先生が決めた箇所で停止し、その都度演習することで自分であればどう考えるのか？を主任ケアマネ同士で意見交換をし、演習のなかでも新たな気づきを得られる内容であった。

《考察》

主任介護支援専門員としてスーパービジョンを実践していくという観点で、事業所内OJTでも活用できる内容であった。そのなかで気づきの事例検討会を主催及び開催していくためには、そのための自主学習が継続して必要であることを改めて実感した。今回西部会場でのWi-Fiが切斷されるトラブルがあり、一番の問題点であった。会場とZoomのハイブリッド研修を進めているところであるが、今回起きたトラブルの改善策を整理し、最善の環境下において研修開催できるよう次の研修に生かしていくたいと考える。

